横浜陶芸友の会だより

第 197 号
令和 8 年
5 月 10 日発行

「総会を終えて」

横浜陶芸友の会会長　鍋島　弘義

令和8年4月25日（土）に杉田地区センターにおいて「総会」が行われました。

「役員会」終了後、休憩をはさみ「総会」でしたが、資料も「役員会」で使用したものを訂正したまま総会の資料といたしました。

「総会」の出席者は8名と役員会のメンバーがそのまま残る形でしたので話が出来なかった箇所を重点的に話し合いました。

「総会」での議案は全て承認され、滞りなく終えることが出来ました。

長時間にわたり、ありがとうございました。

議案としては、各部の活動報告・今年度の活動予定、会計の決算・予算、その他でしたが詳細は、各報告の欄をお読みください。

今年度の主なイベントとしては、「第47回作品展」が来年の1月に「かなっくホール」で開催する予定で動き始めました。7月初旬の申し込み・抽選で日程が決まります。

また、その他の議案として**例年以外の「作品展」について**検討していくことになりました。まだ内容が決まってはいないのですが、会員の意見を聞いてみよう。と役員会で話し合われ、アンケートを行うことになりました。

会員の高齢化が進み、まだ身体の動く内に実現させたい思いもあります。

よろしくご協力お願いいたします。

専修部の「焼成会」はしばらく中断し、「思い出の器会」として秋に行われます。

「思い出の一品」を持ち寄り「陶芸談義」をしながら作陶意欲を奮起させましょう。

会報やラインで詳細が決まり次第お知らせすることになっています。楽しみましょう。

また、専修部で保管している釉薬の材料も会員の方に還元していますが、まだ在庫が残っているようですので欲しい方は専修部長の井上さんに声をかけてください。

残念なお知らせです。毎回会報に掲載されていた「陶陶さん」の作者、赤星さんが体調を崩され断筆となりました。長きにわたり執筆され本当にありがとうございました。

「令和8年度総会」《議事報告》

4月25日（土）17時より、杉田地区センター集会室Aにおいて、出席者8名により行われ議題はすべて承認されました。

［議長］鍋島弘義　［記録］鈴木貴久

《議事》

「総務部」より

令和7年度 各部の活動報告

総務部　2025 年度 活動報告

総　務　部	広　報
4 月 16 日（土）役員会　（総会に向けて）	
5 月 25 日（土）総会	
6 月 13 日 「友の会たより」5 月号（193 号）の発送	5 月 12 日（193 号）発行 ・総会の報告　・決算・予算書　他
7 月 27 日（土）　役員会	
8 月 15 日 「友の会たより」8 月号（194 号）の発送	8 月 15 日（194 号）発行 ・秋期焼成会案内　・関東学院 Fes 案内　他
10 月 27 日（土）　役員会	
11 月 28 日 「友の会たより」11 月号（195 号）の発送 「第 46 回作品展のご案内」の発送	11 月 28 日（195 号）発行 ・「焼成会」報告　・作品展案内　他
2 月 8 日（土）　役員会	
3 月 12 日 「友の会たより」3 月号（196 号）の発送	3 月 8 日（196 号）発行 ・「作品展」報告　・「45 回作品展」紹介　他

「事業部」より

事業部　令和 7 年度活動報告

（1）「第 46 回作品展」報告
※詳細は「会報 196 号」に掲載しました
〈会期〉2026 年 1 月 13 日（火）～ 18 日（日）
〈会場〉かなっくホール 3 階ギャラリーA
〈出展者数〉13 名　〈名簿記入者数〉118 名
〈作品数〉201 点　〈課題〉「飯茶碗」13 点
※役員会前の資料作りの事業部部会は、ほとんどメールで行いました
・7 月 1 日「かなっくホール」申込み
・12 月 10 日「かなっくホール」へポスター及び案内ハガキを提出
・1 月 10 日「作品展準備」杉田地区センター
・2 月 1 日「第 46 回作品展」報告資料確認

（2）関東学院大学「第 3 回関キャン fes.」については参加者が少なく不参加

「専修部」より

専修部　令和 7 年度活動報告

・「友の会だより」への原稿送信
※8 月 15 日「秋期焼成会のご案内」を広報部へ送信
※11 月 30 日「秋期焼成会報告」「専修部のこれから」を広報部へ送信

※「秋期焼成会」（会場）井上宅

（日程）
9/28（日）10：00～受付、素焼き済の方は釉掛け
10/2（木）10：00～素焼き　　5 日（日）10：00～釉掛け
7 日（月）16：00～第 1 回本焼き　11 日（金）16：00～第 2 回本焼き
20 日（日）10：00～引渡し、懇談会

（結果　参加者数ほか）

	参加者数	作品点数	作品重量
令和 6 年	9 名	39 点	12,76 kg
令和 7 年	6 名	24 点	7,35 kg
増　減	－3 名	－15 点	－5.41 kg

（部会ほか）
R7 年 4 月 26 日 総会前に部会　（議題）「秋期焼成会日程」
R7 年 10 月 27 日役員会にて秋期焼成会報告、会計報告提出

（専修部在庫釉薬原料　無料配布）
蛙目粘土、朝鮮カオリン、福島珪石、福島長石、松灰、3 号石灰釉、酸化コバルト、沈殿防止剤、　計 9,470ｇ　配布完了

※（専修部在庫釉薬原料 無料配布）について
右記の報告の物は配布いたしましたが、〈未配布原料〉
中国黄土・焼タルク・ベントナイト・合成柞灰・亜鉛華・酸化亜鉛・炭酸マグネシウム・塩化マグネシウム　以上　在庫があります。
☆ご希望のある方は 専修部長の井上 までお問い合わせください。

令和 8 年度　各部の活動予定

「総務部」より

令和 8 年度 総務部 活動予定

【 部員構成 】（※は兼務）
（部長）高橋 光男　深川 貴子
※鍋島 弘義　※鈴木 貴久　※井上 明
※吉川 勝　※鈴木 和子

2026 年度　総務・広報　活動予定

総　務　部	広　報
4 月 25 日（土）15 時～　役員会（総会に向けて）	
4 月 25 日（土）17 時～　総会	
5 月下旬　・「友の会たより」	5 月中～下旬（197 号）発行
7 月下旬～8 月上旬　役員会	
8 月下旬　・「友の会たより」8 月号の発送	8 月中～下旬（198 号）発行
10 月下旬～11 月上旬　役員会	
11 月上旬　・「友の会たより」11 月号の発送 「第 47 回作品展のご案内」の発送	11 月中旬（199 号）発行
2 月中旬～下旬　役員会	
3 月初旬　・「友の会たより」3 月号の発送	2 月下旬～3 月初旬（200 号）発行

「事業部」より

令和８年度 事業部 活動予定

【部員構成】（※は兼務）
（部長）吉川　勝　（会計）大日方　毅
（作品展等）吉川　勝　大日方　毅
清水あや子　※鍋島弘義　※鈴木貴久

令和８年度　第４７回「作品展」

☆会場「かなっくホール３階ギャラリーA」
・１月初旬　６日間実施の予定
（※７月に申し込み抽選があります）
☆特設コーナー課題　「湯飲み」
☆出展料　一区画（45 ㎝）２０００円
☆懇親会　開催する予定

※詳細は会報の **11月号** 発行時に同封

「作品展」関係　確認内容
・会場の設営　９時30分より行う
・一般の受付時間　11時から直接会場へ
・作品展の開場時間は　10時～17時
（搬出時は16時）まで
☆出展される方は **半日程度の当番** を
お願いいたします

「専修部」より

令和８年度 専修部 活動予定

【部員構成】４名
（部長）井上　明　（会計）鈴木和子
（会場申込）中村のりこ
（秋期焼成会）本橋昭彦　他全員
（焼成会備品管理）井上　明

「思い出の器会」
≪日程≫　令和８年　秋頃を予定
《 趣旨 》
「焼成会」をしばらく中断し「思い出の一品」を持ち寄り「陶芸談義」をしながら作陶のモチベーションを高め、情報を交換する。

※ 詳細は会報の **８月号** に載せます

お知らせ

※今年度の会としての「**焼成会**」は行いませんが、**個人的に 鈴木和子**さんが「**技能文化会館の窯**」で焼成を行う予定です。
日程等決まりましたら、「**友の会のライン**」で皆様にお知らせするそうです。
「焼成料」は、100ｇ100円を予定しています。
ご希望のある方は、ラインを見て直接お申し込みください。

令和８年度組織および役員について

〇広報部へ
＊令和８年８月発行の「友の会だより」へ令和８年秋ごろ予定の「思い出の器会のお知らせ」を送信
＊令和８年11月発行の「友の会だより」へ令和８年秋実施済の「思い出の器会報告」を送信

令和８年度　組織および役員

顧　問	寒河江 洋子
客　員	高村 正明　　松崎 紀一
会　長	鍋島 弘義
副会長	鈴木 貴久
総務部 広報 (HP) 含む	★高橋 光男　　深川 貴子 ※鍋島 弘義　※鈴木 貴久 ※井上　明　※吉川　勝 ※鈴木 和子
事業部	★吉川　勝　　大日方 毅 清水 あや子 ※鍋島 弘義　※鈴木 貴久
専修部	★井上　明　　鈴木 和子 本橋 昭彦　中村 のりこ

（★　は部長　　※　は兼任）

「その他」

〇例年以外の「作品展」について
・今年度は事業部を中心に、例年通り「かなっくホール」での「作品展」を行う方向で計画を進めることになりますが、会員の高齢化も進み出展される作品も小さくなり、客足も少なくなってきています。
役員会の中でも、「作品展を人通りの多い会場でやってみたい。」という意見も出ています。
会場は「みなとみらいギャラリー」という候補も出ています。期日は未定ですが、新旧作品の自由出品なら、今まで作った作品も出せるのではないか？との事で、アンケートを取ることになりました。
同封のハガキやラインのアンケートでご意見をください。よろしくお願いいたします。

第45回作品展」　大日方　毅

④牡丹　：　透明釉薬（既製品）　半磁器土

古代呉須での絵付け作品

今年の作品は、蛙目を使った時とそうでない時の艶の違いを見てください。

艶のないのが蛙目を使った物で**釜戸長石と石灰と蛙目で7対2対1**の割合で使うとこんなに艶がない。全く同じで①が蛙目を入れなかった物でガラス質の艶が出る。

長石の**釜戸と平津**の違いはあるかもしれないが、主に**蛙目**が入っているか入っていないかの違いでこんなに違うものかと思ってしまう。

②③④⑨は既製品の透明釉で、⑤⑥⑦⑧が**釜戸長石と蛙目**が入っている。後は⑨だけは**磁器土**で残りは全部**半磁器土**を使っている。

絵については、もう少しダミの使い方を練習したい。ただ、勢いだけは出したいな。と、思うのと、濃淡を出したいが、まだまだ出来上がってみると。意外と描いている時は、「オッ！いいじゃん。」と思っているんだけど。

もう少し時間があればテストピースを作ればいいんだけど。

①葡萄　：　透明釉薬（平津長石＋石灰）　半磁器土

⑧葡萄　：　透明釉薬（釜戸長石＋石灰＋蛙目）　半磁器土

⑤⑥牡丹　：　透明釉薬（釜戸長石＋石灰＋蛙目）　半磁器土

⑨牡丹　：　透明釉薬（既製品）　磁器土

⑦海老　：　透明釉薬（釜戸長石＋石灰＋蛙目）　半磁器土

②海老　：　透明釉薬（既製品）　半磁器土
③牡丹　：　透明釉薬（既製品）　半磁器土

焼成コーナー（第46 回）

展示の全体図

焼成会の様子と窯詰め

焼成会で焼いた作品

【編集後記】

・1990 年（平成 2 年）6 月から連載が始まった「陶陶さん」が 2026 年（令和 8 年）3 月、会報 196 号 117 話をもって終了となりました。なんと、36 年間続きました。しかし、作者の赤星さんが体調を崩され「約 20 年単身生活をして、どうにか大きな病気をすることがなく過ごせていましたが、今回はちょっと心配で申し訳ありませんが漫画は終止符を打たせていただこうと思います。」との連絡が入りました。

長年にわたり会のために尽力された赤星さんに感謝とご健康の回復を祈念したいと思います。

本当にありがとうございました。

一日も早くご健康を取り戻し、またご活躍ができることを心より祈念いたします。

・「第 36 回作品展」の作品紹介にあたり、手違いによりインタビューの録音を消してしまいました。誠に申し訳ありません。作品の説明が書けなくなりました。お許しください。

・今年度もよろしくお願いいたします。

鍋島弘義

ホームページもチェック!!

横浜陶芸友の会

検索

http://www20.atpages.jp/tomonokai/

横浜陶芸友の会だより
第 197 号
（令和 8 年 5 月 17 日発行）
（発行人）横浜陶芸友の会